

令和元年度第1回学校運営協議会議事録

実施日時 令和元年6月1日 9:20~11:00

実施場所 校長室

出席者 委員4名、校長、事務局（教頭2名、事務長）

I. 会長挨拶

会長が欠席のため副会長から会議開始の挨拶

II. 校長挨拶

(1) 事務局側転任者の紹介

(2) あいさつ・・・今年度新たに9名の新着任の教員を迎えた。どの教員も各自さまざまな経験を持っており、活躍が楽しみである。北淀高校は、今年最後の卒業生を送り出す。閉校式の準備も粛々とすすめていく。淀川清流高校に関しては、昨年度に比べて、今年度の倍率はわずかに下がったが、宿泊研修中の生徒はとても落ち着いていた。一方で、生徒の生活背景が多様化し、障がいがあったり、不登校を経験した生徒もいることから、よりいっそうの丁寧な指導をこころがける。エンパワメントスクールとして、本校のあらたな魅力を発信していくことが必須。中学校の協力、地域との連携が必要である。本日も忌憚のない意見を頂戴したい。

III. 協議（事務局）

① 平成31年度学校経営計画について〈資料1〉〈資料2〉

・めざす学校像は、昨年度と変えていない。また、中期的目標について北淀高校と淀川清流高校ではめざすところはほぼ変わらない。淀川清流高校の「3 本年度の取組内容及び自己評価」の項目から主なところを説明する。

・「1 確かな学力の育成」について、本校では、今年度も9月6日全教員を対象にスキルアップ研修を実施する。また、民間の授業力向上に関する視聴システムを導入した。教員が各自で授業の仕方や教育界の動向を勉強できるようなコンテンツである。全国の優れた授業や、講演などを空いている時間を使って見ることができる。教員の授業力をアップすること、そして、進学特別講習の参加人数を増やすことをすすめていきたい。講習については、進路指導部を中心にすすめていきたい。

・「2 系統的なキャリア教育」について、(3) 検定試験についてだが、明日、1回目の英語検定を本校で実施する。21名が受験予定である。家庭科の検定試験もあり、46名が4級を受験予定。まだ実施できてはいないが、漢字検定も実施したいと考えている。

・「3 家庭・地域と連携した丁寧な生徒指導の推進」について、(1) のウにあるように、今年は挨拶指導を重点的にしていきたい。また、(3) イにあるように、PT

A活動の活性化、保護者の参加者を増やしていきたいので、役員のありかたを今年度から変え、役員会・実行委員会体制にするよう総会で諮る。ウにあるように、広報活動が今後ますます重要になる。例えば、生徒が司会をしたり、中学生の前にでて説明をするなど、生徒の活躍の場を増やしていきたい。そうすればさらにそれができる生徒が入ってきてくれると考えている。

・「4 人権教育・国際理解教育の推進」の（2）の特別活動のところにある、部活動加入率については、今年 30%を超えた。以前からダンス部についてのご意見をいただいているが、生徒の中から、声はでてきていない。生徒の中から要望があれば考えたい。今年は演劇部員が公演を行った。今後ますます活発に活動してくれると期待している。昨年度からやっているランチミーティングを今年もやる予定だ。

・「5 教職員の資質向上と校務の効率化」の（3）（4）にある、ICT機器について、本校では全員が使っているといっても過言ではない。昨年度、1年生の教室を中心に黒板をホワイトボードに変えていったが、今年度は残った教室のもホワイトボード化した。超過勤務について、4月の調査で80時間オーバーは3名いたが、みな、部活動での超過であった。業務の分散化と、能率化を今後もすすめていきたい。

<ご意見>

（委員）授業力向上に関する民間のコンテンツについて具体的に知りたい。ぜひ活用して先生方の授業力を上げてほしい。いい講師に来てもらうには、費用も時間もかかる。直接聞いた先生はいいが、それを同僚に伝えるのは難しいと思う。

（事務局）短い時間で見れる優れた授業実践や、講演会もある。先生方の休日や、空き時間に利用してもらうこともできる。放課後の研修を企画しても、部活動や生徒と向き合う時間が減ることを心配する教員もいる。

（委員）中学生向けの授業も参考になるのでは。

（委員）中学校でもタブレットを取り入れているが、先生方がそれを完璧に、うまく活用するためには、準備時間や、技術的にも難しい面もある。

（委員）生徒全員がタブレットを持てば、ホワイトボードをもっといかせるのでは？お金の面で難しいかもしれないが。

（委員）本校に入ると、生徒からあいさつされることがある。いいことだな、と思う。人間育成のためにお互いあいさつをする習慣がつくのはいい。さらに、障がい者や困っている人への行動や声かけの配慮が身についたらいいなと思う。

② 報告（事務局）

（1）54期生（昨年度卒業生）の進路状況について

- ・大学も入学させる人数を絞ってきたこともあり、難しくなっているようだが、本校で進学を希望する生徒は、頑張れば進学できる、という道筋をつくりたい。早い段階から講習をするなど、学校としてサポートしていく。今までは学年の先生、進路指導部の先生が放課後講習などをしていたが、教科主導の講習になっていくのが望ましい。
- ・昨年度指定校求人であったにもかかわらず不合格だった生徒がいたが、原因は欠席が多かったから。今年は、生活習慣の定着も力を入れてやっていきたい。
- ・本校の学校斡旋就職の指導は、力を入れてやっているが、それについていけない生徒もいる。遅刻や欠席が多く、採用試験に、何度も挑戦する生徒もいれば、アルバイトに変えてしまう生徒もいる。卒業するまで進路が決められない生徒もわずかながらおり、その数を減らすことに力を入れていく。

<ご意見>

（委員）卒業後の進路状況や、アルバイトと就職の違い、給与のことなど、在校生には早いうちから、シビアなことも伝えるのがいいのでは。今は売り手市場であるが、今後の先行きは不透明であり、生徒にもっと敏感になってもらいたい。

（2）生徒指導について

- ・平成26年度から遅刻指導に力を入れて取り組んだことで順調に遅刻数を減らしてはいたが、淀川清流になったことで遅刻件数が大幅に減ってきている。
- ・また、1、2年生については、服装指導が減っている。入学時に、そういうものだと理解して入学してくる生徒、または、そういうものだと納得し指導に従ってくれる生徒が増えた。落ち着いている。

（3）入学時アンケート結果報告について

- ・「基礎から勉強を教えてくれるところが魅力だった」という問いの「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」で94%。「基礎から勉強したい」という問いでは78%が「あてはまる」を選択。生徒自身も、基礎をしっかり身につけたいと思って入学している。
- ・「今の自分を好きですか」という問いでは、「好き」と「どちらかといえば好き」が37%しかいないという結果。自己評価が低い生徒が多いことがわかる。
- ・「人付き合いは上手ですか」という問いでは、5人に1人（21%）の生徒が「あまり上手ではない」という結果。
- ・「淀川清流高校のオープンスクール」に「参加していない」生徒が33%。広報活動

にも力を入れ、ぜひ、多くの中学生に本校を実際に体験し納得のうえ、入学してもらいたい。

・「一般的に先生に対してどんなイメージを持っているか」という問いに対して「信用できる」29%、「信用できない」19%。小中学校であまりいい経験をしていない生徒もいることから、これからも丁寧な指導をこころがけていく。

(4) 部活動について

- ・部員数は少しずつだが増加している。
- ・今年度も1年生がたくさん入部してくれた。
- ・六月に開催する6月フェスティバル（文化部活動の発表会）や、学校行事などで、部員の活躍を楽しみにしている。

<ご意見>

(委員) 生徒の中からダンス部をつくってほしいという要望はでてきたか。今の子どもたちはダンスが上手なので、同好会からでもやりたい生徒がいるかもしれない。

(事務局) 今までのところ、生徒からの要望はでていない。しかし、要望があればぜひすすめたい。

(5) P T A 組織改編について

- ・保護者の方がより参加しやすい形にP T A組織の改編を考えている。すなわち、令和元年6月1日より、各学年から6名ずつ学年委員を選出し、役員、各学年委員、校長、教頭をもって「実行委員会」を組織する
- ・会費については年額3000円に変更する。

③ 保護者宛「意見書」の配布について（事務局）

・保護者から教育活動についての意見等があれば、別紙の資料に記載のうえ提出いただき、学校運営協議会で取り上げるシステムがある。

④ 本年度の学校運営協議会日程について（事務局）

第2回 10月26日（土）午前9:30から11:00まで

第3回 2月1日（土）午前9:30から11:00まで

上記の日程を確認した。

IV. その他

校長より・・・本日いただいたご意見を学校経営に生かしていきたい。今日は4限まで授業をやっているのでぜひ見て頂き、ご意見を頂戴したい。